

3Dの規格化に向けて開発体制を強化

「PHLアドバンスドオーサリングセンター」を開設



2月1日にアメリカ・ハリウッドに新拠点設置

本リリースの正文は「Panasonic Announces Creation of 3D Full HD Advanced Authoring Center in Hollywood」で、米国ラスベガスにて、2009年1月7日（現地時間）に発信されたものです。

当社は、現在、民生分野で実用化が期待されている3D（3次元）に関するブルーレイ<sup>TM</sup>（注1）の規格化・開発・製品化を加速するために、アメリカ・ハリウッドにあるパナソニックハリウッド研究所（以下、略称：PHL）内に「パナソニックハリウッド研究所アドバンスドオーサリングセンター」（以下、略称：PHL-AC）を2月1日に設立します。このPHL-ACでは、3Dに対応したブルーレイタイトル制作などの先端的なオーサリングサービスの提供を行ってまいります。

当社は、2001年にハリウッドにPHLを設置し、映画コンテンツの圧縮技術、ブルーレイ規格・オーサリング技術などをハリウッドスタジオと共同で開発してきました。また、AV機器の画質向上に向けた技術開発を進め、その画像技術に対し高い評価を得てまいりました。

PHLでは、同所で開発されたMPEG-4 AVC High Profile高画質エンコーダやパナソニック本社R&D部門で開発されたBD-Javaオーサリングシステムなどを使って、高画質・高品質のブルーレイディスク<sup>TM</sup>（注1）の制作を行っており、既に100タイトル以上の先端的なブルーレイタイトルの制作実績があります。ここで制作されたタイトルは、ハリウッド内での数々の賞<sup>\*</sup>1を受けており、非常に高品質なオーサリング技術を有することでも定評があります。

当社では、3Dの本格商用サービスを見据えて、PHL内に、3D関連設備<sup>\*</sup>2を拡充させるとともに、3D用MPEG-4 AVC High Profileビデオエンコーダの開発など、ブルーレイオーサリングシステムの3D拡張機能の開発を推進しております。今回設立するPHLアドバンスドオーサリングセンターでは、これらの新規開発の3Dブルーレイオーサリングシステムを使うことで、3D版ブルーレイタイトルの試作を開始します。3D版ブルーレイタイトルの試作施設をハリウッドに設置することにより、ハリウッド映画産業との3Dに対する共同作業を円滑に行うことが可能になり、ハリウッドの先端的な3D映画製作のノウハウをすばやく吸収し、これをフィードバックした3D表示機器やオーサリングシステムの開発を行うことが可能になります。このように、米国映画業界の3Dブルーレイタイトルの商用化を支援することで、3D事業の円滑な立ち上げに貢献してまいります。

\*1：主な受賞ブルーレイタイトル

- 2008 DVDA Excellence Awards（2008年5月開催のDigital Hollywoodで受賞）
- Excellence in Video Encoding: Fantastic 4 Sliver surfer
- Excellence in Advanced Interactivity: Pirates of the Caribbean 2
- Excellence in Menus & Presentation: Pirates of the Caribbean: At World's End
- Excellence in TV Discs: Prison break season one
- Excellence in Game Disc: Independence Day
- Home Entertainment Critics Awards（2008年6月開催のHome Entertainment Summitで受賞）
- Best Blu-ray<sup>TM</sup>（注1）Theatrical Title: Pirates of the Caribbean: At World's End

\*2：PHLの主な3D関連設備

- 3D対応デジタルシネマプロジェクタ（劇場用Dolby<sup>®</sup> 3D（注2）システム）、3DフルHD 103インチプラズマシステム、3D対応MPEG-4 AVC High Profileエンコーダ（開発中）

（注1）“Blu-ray（ブルーレイ）”“Blu-ray Disc（ブルーレイディスク）”は、ブルーレイディスクアソシエーションの商標です。

（注2）ドルビーラボラトリーズの登録商標です。